

## 平成29年度 弘前大学教員免許状更新講習 シラバス

開設者	弘前大学	講習番号	C33																										
必修・選択必修・選択区分	選択領域	講習時間数	6時間	受講予定人数	40名																								
対象職種	教諭	主な対象者	小学校・中学校・高等学校国語科教諭																										
講習の名称	国語科の国語学的分析																												
開設日	平成29年8月6日(日)	開催地	青森県弘前市																										
講習会場	弘前大学 (弘前市文京町1番地)																												
講師氏名	平井 吾門(弘前大学)																												
講習内容	<p>「五十音図で『ん』が飛び出ているのはなぜか」「昔の人は濁点や句読点がないのになぜ困らなかったのか」「濁点の付かない仮名に無理矢理濁点を付けたらどんな音になるのか」「よい和歌とは何か」等々、ちょっと国語が得意な小学生が抱く素朴な(そしてその多くが高校を卒業しても解決されない)疑問に対して、国語学的視点を導入することの有効性を示します。</p>																												
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語科における諸問題について、課題解決の糸口として国語学的アプローチをとることの意義について考察することができる。</li> <li>・ 実際に国語学的アプローチによって課題解決をする方向性を探ることができる。</li> </ul>																												
講習方法等	<p>【講義】</p> <p>冒頭に「講習内容」に示したような内容を問う(成績には関わらない)小テストを課すとともに、国語(特に言語事項)に関して疑問に思っていることを挙げてもらいます。それらをふまえて、現状や問題点を適宜話し合った上で、国語学的アプローチから個々の課題についての視点や論点を解説していきます。</p>																												
時間割	<p>(時間)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">9:00 ~</td> <td style="width: 20%;">9:30</td> <td>受付</td> </tr> <tr> <td>9:30 ~</td> <td>9:40</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>9:40 ~</td> <td>10:00</td> <td>小テスト</td> </tr> <tr> <td>10:00 ~</td> <td>10:30</td> <td>ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>10:30 ~</td> <td>12:30</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>13:30 ~</td> <td>16:00</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>16:00 ~</td> <td>16:30</td> <td>筆記試験</td> </tr> <tr> <td>16:30 ~</td> <td>16:45</td> <td>評価書記入</td> </tr> </table> <p>※休憩時間は適宜設けます。</p>					9:00 ~	9:30	受付	9:30 ~	9:40	オリエンテーション	9:40 ~	10:00	小テスト	10:00 ~	10:30	ディスカッション	10:30 ~	12:30	講義	13:30 ~	16:00	講義	16:00 ~	16:30	筆記試験	16:30 ~	16:45	評価書記入
9:00 ~	9:30	受付																											
9:30 ~	9:40	オリエンテーション																											
9:40 ~	10:00	小テスト																											
10:00 ~	10:30	ディスカッション																											
10:30 ~	12:30	講義																											
13:30 ~	16:00	講義																											
16:00 ~	16:30	筆記試験																											
16:30 ~	16:45	評価書記入																											
履修認定の方法	筆記試験																												
成績評価の方法・基準等	成績評価は、筆記試験の成績と講習中の参加状況等から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。																												
教材等	<p>プリントをこちらで用意します。</p> <p>『図解日本語』(沖森卓也ほか著、2000円、三省堂、2006年)などの国語学(日本語学)概説書があると便利です。</p>																												
備考	状況に応じて国語辞書を使用する場合がありますので持参してください。																												